

議事（2）羽村市観光の現状・課題・施策の方向性について

<意見・感想>

| No | 意見・感想等 | 市からの回答 |
|----|--|---|
| 1 | 羽村市だけではなく、周辺市との連携でルートプログラム造成を行うことが 必用。それは地元が好きで、地元をおもしろくしようという人が結びつか ないと無理。そのような人々によるプロジェクトが必用ではないか。 | ご意見のとおり、近隣市と連携し、観光スポットを点で結び、線として繋ぐ ことは有効と捉えている。観光協会や商工会、西多摩地域広域行政圏協議 会、大多摩観光連盟など関係団体と連携し、企画を検討することしたい。 |
| 2 | 観光は集客だけではなく、飲食などで消費を誘発しなくてはならない。それ を差別化し、ブランド化し、SNS等による広報が必用。商業（魅力的な 店）、工業（工場見学）、教育（文化財の活用）、広報の連携が必用。 | |
| 3 | 羽村の水（含む地下水）は重要な観光資源。アクアツーリズムにも留意を。 | 「水」をテーマとした観光資源として、羽村堰周辺だけでなく、市の上水道 施設などの活用を含めて検討していきたい。 また、「水」については市の魅力の一つとして、シティプロモーションに努 めていく。 |
| 4 | 現在コロナ禍でキャンプの人気の高まっている。現在、コロナ禍のため堰下 レクリエーション広場のテントサイト等は当面お休みのようであるが、若者 から働き盛りの人達が好むようなテントサイトへの変更を検討してみるのも 一案と考える。 | 同施設については、工作物の設置や使用方法などに管理者（国）の制約があ ることから改修は難しい面もあるが、市では今後、多摩川の景観を生かした 周辺環境整備に取り組む考えであり、ニーズを反映した施策の立案にあたっ ての貴重な意見として取り扱わせていただく。 また、アフターコロナを見据えた施策立案個別の事業に関しては、施策の立 案にあたっての貴重な意見として取り扱わせていただく。 |
| 5 | キャンプと併せて、体験することが現代においては好まれるので、羽村市の 特徴である「水」を活用した体験の検討や、地元農産物を使ったキャンプ クッキング等の体験を計画することも一案と考えられる。 | |
| 6 | コロナ禍でワーケーションが注目されている。自然豊かな中で、リモート ワークをしながら、散策等ができることを好む若者等が増えている。例え ば、長野県富士見町に立地した「富士見 森のオフィス」のようなテレワー ク&コワーキングスペースを貴市の多摩川近くに立地するなど一案と考え られる。従来型の価値観ではなく、多様化した価値観を受け止め、新しい働 き方やライフスタイルに対応できる施設整備、ただし、既存施設のリニュー アルも含めて検討することを提案したい。 | |
| 7 | コロナ禍で長期に渡り活動が制限されている人々は、コロナ収束後には自由 に活動することが想定されるが、日々の仕事があるわけで、週末ごとに県外 旅行や海外旅行に出かけることは物理的に難しい人も多いと想定される。人 口の多い東京大都市圏において、近郊へ出かけ、自然と親しみながら、新し い体験ができることは魅力的であるため、コロナ収束後の対応策の検討も必 要である。 | アフターコロナの観光施策には、マイクロツーリズムや体験型資源の開発な どの視点が重要となると考えている。関係団体や近隣自治体などと連携して 検討していく。 |
| 8 | 観光事業の主体が明確になっていない。誰が主体なのか？が見えないと施策 の方向性が決まらない。 | 観光振興は行政だけでなく、関係団体や機関、市民など、市全体で連携して 取り組んでいきたいと考えている。 |
| 9 | 抽出されるキーワードが一般的で、かっこ良すぎる。もっと泥臭く追及す べき！すべてのキーワードにピンと来ない！のは私だけかな？例えば、この キーワードの中で最も重要と思えるものはどれか？ 色分けが必要です。 | 資料2「観光の現状と課題」「抽出されるキーワード」でお示ししているの は、統計データや関係団体ヒアリングなどから考えられるキーワードを事務 局が提示した案であり、これに対して、委員の皆様にご追加または削除すべ き分野や項目、重要度、考慮すべき課題や要因などについて、ご意見を伺い たいものである。ぜひご意見をお寄せいただきたい。 |
| 10 | コロナ禍の中、「今こそチャンス」と捉えると面白い企画ができると思 う。例えば、市内にライブカメラ（定点カメラ）を設置してライブ配信する など。（根がらみ水田（稲の生長等）・はむらの堰（川の流れ）・動物公園 内 他） | ご提案の内容について、施策の立案にあたっての貴重な意見として取り扱 わせていただく。 |
| 11 | ※向題点 目玉となる観光資源が無い、又は気付いていない。 地域の知名度・認知度が低い。 | アフターコロナの観光施策には、マイクロツーリズムや体験型資源の開発な どの視点が重要となると考えている。関係団体や近隣自治体などと連携して 検討していく。 |
| 12 | ※対策 農業と重なる部分はあるが、農産物直売所をもっと活用できないかと思っ ている。「道の駅」的な利用方法で、直売所は勿論の事、レストラン・物品等 の店舗もあると他市からの来客も見込めるのではないかと思う。 また、レストランでは羽村産野菜×市内の肉屋から仕入れた肉等を使用した 料理を提供するなどして、余った野菜の有効利用、市内店舗の売上向上、雇 用創出を目指せないか。一意見としてご理解願います。 | 農産物直売所を「観光」の視点で有効活用することは、農業振興にも繋がる ものとする。施策の立案にあたっての貴重な意見として取り扱わせていた だく。 |
| 13 | ※現在のコロナ禍が収束した状態での意見です。 魅力の中で、羽村市立動物公園はやはり観光地としてもっと集客を見込める のではないか。現在、指定管理として株横浜八景島が運営していると思 うが、飲食物の増加や外部からの飲食店（キッチンカー等）が増えると集客も 向上すると思う。契約の条件や制限は不明ですが。 | ご意見のとおり、観光資源として動物公園の更なる活用を考えていきたい。 |
| 14 | 観光には特産品・特産物がないと集客力は落ちる。チューリップと桜のみで は、いかがなものか？ | 土産物や飲食物など、「観光」においても特産品の開発は重要と考えてい る。産業分野間での連携を進め、引き続き羽村の特産品開発に努めていく。 |
| 15 | 市の表玄関と言われる羽村駅西口に関して、お粗末な景観の早期開発を求め たい。 | 中心市街地活性化の取組みについて検討していきたい。 |
| 16 | 観光資源の少ない羽村市においては、観光協会をもっと活用し、近隣の市町 村と連携して、西多摩を売り出せる組合を作り、多くの意見を聞いてみたい と考える。 | 西多摩地域の観光協会や自治体との意見交換の場があることから、この場を 活用し広域連携を強化する中で検討したい。 |
| 17 | 日野自動車は羽村市内のバスを製造していると伺った。現在自動車の自動運 転技術が各メーカーで開発競争をしている。日野自動車と連携して羽村市内 で業界初のバスの無人自動化運転に協力はどうか。各団体からの視察の増加 が見込まれ、観光資源の一部にもなる。区画が整理された東側の大通りであ れば運用できるのではないか？ | 企業活動における先進的な取り組みは注目度が高く、観光資源となり得ると 考えるが、企業活動への影響など考慮すべき課題も多いと捉えている。企業 との連携は観光資源の開発においても非常に重要と考えており、協力が得ら れるよう理解促進に努め、連携の強化を進めていきたいと考えている。 |
| 18 | 現在、羽村市公式ユーチューブチャンネルは開設済みと思うが、更新頻度や 観光に関わる動画の本数は月何回程度なのか？また、チャンネルによる効果 は検証できているのか？ | 現在、テレビはむらYouTubeの更新は月2回であり、効果検証は再生回数に基 づき行っている。 |

| | | |
|----|---|--|
| 19 | 工業製品出荷額が都内2位という強みを生かして、大人社会科見学(もちろん工場見学などは親子で楽しめる内容)を企画されてはどうか。 | 教育委員会では「わが街羽村を知るシリーズ」と題して、工場見学など市内事業所を巡る事業を市民を主な対象として実施している。個別の事業に関しては、施策の立案にあたっての貴重な意見として取り扱わせていただくが、民間事業所との連携とともに、「観光」の視点をふまえて検討していきたい。 |
| 20 | 定量的に調べたわけではないが、ふだんの会話の中で「羽村に動物園がある」ということは、都内のビジネスマンにも知られていると思う。 | 近隣にはない動物公園は観光資源として考えられる。「観光」の視点をふまえ、更なる活用について考えていく。 |
| 21 | 関係団体ヒアリングでは様々な方向性の意見が挙げられているが、羽村市の観光ビジョンや目指すべき方向性を定めるために、市が旗振り役となって地域関係者や関係団体等との議論を重ねていくことが重要ではないか。単に観光入込客数を増加させる観点に留まらず、観光以外の地域の特徴(産業や地域資源等)を最大限活かすことで地域への投資を呼び込むための戦略を検討することも重要。 | 観光振興は行政だけでなく、関係団体や機関、市民など、市全体で連携して取り組んでいきたいと考えている。ご意見のとおり、観光入込客数の増加だけでなく、人々の交流やにぎわいが生まれることにより、活力あるまちとして持続的に発展していくことを目指していきたいと考えている。 |
| 22 | これまで提示いただいた各分野において、抽出されるキーワードが多岐にわたっていることから、インテグレートの方、実行に移す際の具体的な進め方・スケジュール等について、貴市産業施策の方向性や期待する成果について、イメージを膨らますためにも、どこかの回でまとめて触れていただきたい。 | 計画策定に向けて、お示しする予定である。 |
| 23 | 一体的な環境整備が必要。例えば羽村・小作駅に車で来た人が止められる大型駐車場、駅から多摩川など観光スポットへ歩いていく場合の歩道、レンタサイクルなどのインフラのほか、途中で寄れる飲食店やお土産店などの設置、目的地までの間にある景観スポット、目的地の磨き上げや通年で行っているイベントなどの観光資源の磨き上げなどを複合的に整備する必要がある。JRと協力して観光ルートを作りつつ、施設や環境を整えていく必要がある。ゆとりぎに有名人を招いてイベントを行う、玉川上水などの水郷めぐりを行うなどのソフト開発も必要である。 | ご提案の内容について、施策の立案にあたっての貴重な意見として取り扱わせていただく。 |
| 24 | 各種羽村市内のお祭り(はむら花と水のまつり、春まつり、夏まつり(人波踊り、サンバ、阿波踊り等)などの集客について、まず市民に周知し、市民の多くが本当に楽しめる内容にすることが必要。それらを市などの広報としてYouTube、多摩ケーブルTVなどで発信する。 | 市では、過去のイベント模様もYouTubeの配信を実施しており、多摩ケーブルネットワーク(株)とはイベントの中継だけでなく、予告・告知番組にも協力いただき集客の増加に貢献いただいている。イベント等のPR、情報発信は非常に重要と考えており、今後も様々な手法を検討していく。 |
| 25 | 羽村の花については、桜、チューリップだけでなく、四季折々もっとPRすることがたくさんある。町内会活動の花壇や道路沿いの花植えをもっと市民参加活動としたい(予算の確保も必要)。 | 町内会活動としての「花いっぱい運動」のほか、市内には花や自然環境に関連した活動を続けている団体などもある。観光資源の開発を進める中で検討していきたい。 |
| 26 | 多摩川沿いの遊歩道・自転車道の整備が必要。隣接市の福生・青梅につながっていない。 玉川上水沿い遊歩道の整備：羽村の堰から玉川上水駅につなげたい。 多摩川(羽村の堰周辺)でのカヌー教室を展開した業者が市内にいる。 羽村の堰周辺に市営の駐車場を整備してもらいたい。 | 遊歩道や自転車道は国や都の管理地であることから、市ではこれまでも羽村堰から水上公園の間の拡充などについて要望しているが、実現に至っていない。引き続き要望していく考えである。また、羽村大橋の下部と奥多摩街道沿いには観光用駐車場を設置し運用している。ご提案の内容について、施策の立案にあたっての貴重な意見として取り扱わせていただく。 |
| 27 | 工場見学も観光事業として位置づけられる。日野自動車の春祭りを市が協賛する。日野自動車の春祭りは、社員が中心の1日と、もう1日は市民参加日とし市民同伴の人のみが入場できる日とする。日野自動車以外にも、大手・中堅企業の参加協力日を用意する。水道タンク上からの富士山見学会も冬場の時期に数日実施してもらいたい。 | 観光資源の開発には、民間事業所との連携が重要と考えている。ご提案の内容について、施策の立案にあたっての貴重な意見として取り扱わせていただく。なお、日野自動車(株)のさくらまつりは「花と水のまつり」の一環として実施されている。また、羽村市水道事務所の給水塔の見学は、毎月1回及び水道週間(6月)に実施している。 |
| 28 | 環境美化について、羽村市は面積当たりの公園の数が多いが、樹木の剪定、芝生・雑草の整備、トイレの美化(百貨店・大手スーパー並みの気持ちの良いトイレ)について、青梅市に比べてもレベルが低い。小さい子供が水遊びができる公園がない。噴水・水の流れなどシニアのオアシスとなる。市外の専門家の指導が必要。 | 「観光」において、市内景観の美観は重要であると考えており、適切な管理に努めていきたい。ご提案の内容について、施策の立案にあたっての貴重な意見として取り扱わせていただく。なお、市内には羽村堰や親水公園(水上公園の一部)、スイミングセンターなど水の魅力を感じられる施設があり、独自の特色をもって運営している。 |
| 29 | 観光協会のHPには、工夫を凝らした観光マップが幾つもアップされている。資料2の「観光の現状と課題」キーワードにある、強みにフォーカスした情報発信に注目すれば、何かと関連付けてのSNS上での紹介などできないものか?(もうしているのかな?) | 観光協会のHPをはじめ、市公式サイトや多言語対応の情報発信ツール「ガイドア」などがあり、観光情報や市の魅力発信に努めている。これらを有効に情報発信ツールとして活用していく考えである。 |
| 30 | 羽村駅から観光案内所までの案内表示を分かり易くすると良い。市内の見どころが点在的である、ルート上の要所々々に方向や距離(歩く時間)を形状や書式を統一して目立つ案内表示があると初めて訪れた人も安心して楽しめるのではないかと? | 従来型の観光案内板の更新のほか、電子化・デジタル化に対応したツールの活用も検討したい。 |